

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和8年5月20日（水） 午後7時 ～ 午後8時30分頃
会 場	花筐公民館・児童館（複合施設）
出席議員	清水 一徳 議員（班長） 松本 照美 議員 畑 勝浩 議員 題佛 臣一 議員 大久保 恵子 議員
参加者（市民）	28名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会 ：清水 一徳 議員 議 会 報 告 ：畑 勝浩 議員 記 録 ：松本 照美 議員
【1部】 定例会概要報告等 （報告者）畑議員	<p>1. 全天候型キッズパークの設置について</p> <p>Q 全天候型施設について、資材不足などで建設が遅れるという話も聞く。令和8年夏予定とのことだが、予定どおり進む見込みなのか。</p> <p>A 当事業は、指定を受けた共同企業体（遊具メーカー等）により実施され、工期遵守の約束も得ている。現時点では予定どおり進める方針であり、大きな変更はない見込みである。</p> <p>2. 暮らし応援商品券の公平性について</p> <p>Q 税金を原資とする以上、住民の状況に関わらず一律に配布することについて、公平性の観点で問題はないのか。制度設計は十分検討されているのか。</p> <p>A 本施策は国の予算に基づく物価高対策事業であり、配布方法は自治体ごとに定めている。</p> <p style="padding-left: 2em;">本市では、18歳以下の市民へは既に別途支援済みであるため、今回の対象は19歳以上の市民とし、5,000円分の商品券配布としている。</p> <p style="padding-left: 2em;">さらに本事業は、地元商店街の活性化の目的もあり、市内登録店舗で利用できる仕組みとしている。</p> <p>3. 温泉施設（湯楽里）の運営と費用について</p> <p>Q 温泉施設の利用者数や収益状況はどの程度か。また、修繕や運営に税金投入が続くことへの妥当性はどうか。</p> <p>A 年間利用者数は、約20万人と聞いている。</p> <p style="padding-left: 2em;">指定管理者制度により外部委託して運営している。</p> <p style="padding-left: 2em;">現在は施設の不具合（天井・壁面の破損）により休業しており、修繕を実施予定。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、設備の老朽化（斜行エレベーター等）も進んでおり、今後は継続運営・縮小・転換・廃止などを含め、方向性を検討していく必要がある段階である。</p>

4. 脳活チャレンジプロジェクトについて

Q 認知症対策は以前から課題であり、なぜ今頃開始するのか。また、対象機関や関係者が限定的ではないか。科学的根拠や具体性、予算規模（400万円）も含めて妥当性に疑問がある。

A 本事業は以下を目的とした「モデル事業」として開始したものである。

- ・検査機器（血流等測定）を活用した早期発見
- ・市役所設置＋地域出張による巡回
- ・特に50代など早期段階での予防強化

現時点では一部事業者と連携して開始しているが、将来的には介護施設・福祉事業者への拡大、市全体への展開を想定している。

予算は試行段階のため限定的だが、今後の成果を見て拡充する方向になろうと考えるので期待してほしい。

（意見）事業成果の進捗を確認し続けてほしい。

5. デジタル学習基盤（心の健康観察アプリ）について

Q 心の健康観察アプリは、ヤングケアラーや虐待の早期発見に有効と思う。一方で「教員負担を増やさない」という方針が導入の妨げにならないか懸念がある。

A 本アプリは、子どもが日々の気持ちを記録し、教員がデータを一括確認できる仕組みで、従来の個別ノート確認よりも効率的である。

そのため、児童生徒の安心感を向上させつつ、教員の業務負担軽減にもつながることが期待できる。

6. 商品券配布時期について

Q 紙の商品券が7月末登録後、8～9月配布となるのは遅いのではないか。スピード感到課題があるのではないか。

A 配布時期が遅れた背景として、先行して他の支援（子育て支援等）を実施していたこともあり、予算残高調整の関係で時間がかかったと聞いている。また、配布方法（お米券の是非）の検討もしていた。

なお、デジタル商品券については、早期利用が可能かつ抽選で1割に当たる500円の上乗せ特典あり、デジタル利用を推進している。

7. 議会と住民の意見反映のあり方について

Q 予算決定後に意見が出るのでは遅い。予算案提示後～議会での審議前に住民意見を聞く仕組みを設け、議会に反映すべきではないか。

A 議員は市民の代表として意見を反映する役割があるため、今の意見をしっかり受け止め、期待に沿えるように議論していきたい。

【2部】

意見交換会

(A班)

進行：題佛議員

記録：畑議員

1. 花筐公園にある旧児童館の解体について

Q 花筐公園の児童館について、「解体して駐車場にする」と市から提案があったが、その後進展がない。地元としては駐車場化に賛成しており利便性向上の効果も大きい。現在どうなっているのか。

過去に市から複数案（公民館・児童館の解体有無）の提示があり、地元は「児童館を解体し駐車場化する案」で合意している。

しかしその後、財政の事情により、実施に至っていない。

重要なことは、市が、実施時期などの途中経過について、地元にも明確に説明することである。その点を強く求めてほしい。

2. 花筐公園の桜の高齢化について

Q 公園の桜が寿命を迎えて伐採されているが、切り株が残り植替えが進まない状態。花筐公園は桜ではなく、紅葉に特化してはどうかという議論もある。花筐とは桜にちなんだ名前であるが、このままでは先人が積み上げてきた公園の意味合いが変わってしまう。自治振興会の春祭りが不要になってしまったり、桜でつながっていた本巢市との友好関係も薄れてしまう。対応はどうなるのか。

A 本日、意見としてしっかり受け止めたので、明日から早速、都市計画課の公園管理部門に確認し、整理して回答させていただく。

3. 歴史的建造物（島会館等）の保存・活用について

Q 地域にある歴史的建物（昭和初期の建築）が老朽化している。文化的価値は高く、地域としては保存したいため、地元としては積極的に活用しているが、トイレが使えないことから活用に支障をきたしている。この点、行政の対応が進んでいないが、どう考えるか。

A 貴重な文化財を残していこうとする運動は進めていかないといけない。議員も一緒になって、保存のための運動をやっていきたいと思う。

4. 公園整備全体の花筐公園の優先順位について

Q 中央公園、紫式部公園、芦山公園は整備されているが、花筐公園は後回しになっている印象がある。年間多くの観光客が訪れる重要な公園であり、もっと重点的に整備すべきではないか。

議会からも、花筐公園の整備について議論の中に出してほしい。

A 越前市は、公園整備に関する予算が鯖江市などと比較して少ない。

また、包括委託により民間任せの側面が見受けられるため、見直しが必要だと議論を続けており、市民の意見に沿えるような改善につなげていきたい。

花筐公園の管理実態について、改めて調査していく。

5. 自治振興会のあり方（ゼロベース見直し）について

Q 自治振興会の見直しが進められていると言われていたが、現状が見えない。行政の下請け的な役割になっている問題もあり、具体的にどう進んでいるのか。

A これまでの課題として、行政の委託業務が過多である、役員負担が大きくなり手が不足している、前例踏襲で事業を継続している、といった点がある。

現在は、ゼロベース見直し方針は継続しているが、地元ごとに「必要な事業」を選択する方向性を持つことも必要。地元側から具体提案が出てくるとよい。それによって、地区ごとの実情にあわせたやり方があって、違っていてもよいと考える。

Q ゼロベース見直しについて、進捗やロードマップが示されておらず不透明。いつまでにどうなるのか明確して情報公開すべきではないか。

A 指摘のとおり。

説明責任をしっかりと果たすことが重要。一緒にやっていきたい。

(B班)

進行：清水議員

記録：松本議員

大久保議員

1. 除雪・融雪に関する意見

Q 今年の冬の除雪状況について、議員はどのように感じたか。

A 全体的には除雪はきれいに実施されていた。ただし、対応の遅れや地域差があった。

また、オペレーターによる仕上がりの差が大きいと感じた。

A 幹線道路では比較的良好であったが、生活道路では遅れや未対応が見られた。

通勤時間帯でも未除雪箇所があった。

A 区長から「除雪が充分にしていない場所がある」と連絡があって、市役所へ連絡するが、市は、「業者対応となるため、市として直ちに対応できない」との説明だった。

(意見)

事前に、除雪の状況に不備があれば市へ連絡してほしいと言われ、除雪の不十分な場所があったため、区長として市役所へ連絡するが、「武生では対応していないので、今立も対応できない」との回答を受ける。市のこの対応は、理解できない。

地域ごとや、降雪時間のズレなどで積雪量に差がある。このことが考慮されていないと感じた。

出勤基準（積雪量）に縛られ、柔軟性が不足している。

明け方の降雪など突発的な状況への対応が不十分である。

Q 今立と武生を結ぶ幹線道路での融雪設備について、どうなっているのか。

A 県道武生美山線の北町と定友町の間で、未整備区間がある。
令和9年度に完成すると聞いていたが、工事が遅れている。
県道であり、県予算の影響で遅れている。市では、県への重要要望事項として、対応している。

2. 花筐公園について

Q 花筐公園の現状について、花筐公園は、市が都市公園の風致公園に指定している。

しかし、近年来訪者が減少している。

公園の管理について、地元では「花筐公園保勝会」を組織し、地域住民が主体的に管理している。

桜の樹木の高齢化が進んでおり、市に頼んで老木を伐採し、新たに苗木を植栽している。

「万葉の里」は市が主体的に管理し、いい公園である。比較すると、見劣りするとの意見があった。

村国山の管理にも、市は積極的に取り組んでいる。

公園管理において、地域住民も年に3回、草刈りを行っている。

市民団体の保勝会も公園を大切にし、熱い気持ちをもって、一生懸命管理している。

保勝会は、高齢化が進んでいるが、最近若い人も参加してきている。

私たちは、花筐公園の今後に危機感を持っている。

今後、市も積極的に関わって、一緒になって管理して欲しい。

A 石清水の岩場が崩れたが、市は対応していない。
地元議員として、議会でも積極的に発言していきたい。

3. 高齢者福祉について

Q 高齢者の生活支援事業（地域支え合い事業）について、将来像がつかめない。

この事業を、社協は断り、自治振興会に丸投げし、市はリーダーシップを発揮していない。

この事業は大切な事業であるが、この先が不安だ。

議員も議会の中で質問してほしい。

A この事業は、当初何に使ってもいいような感じであった。
今立でも高齢化が進行し、この事業をしっかりとやる必要がある。
本来は、とりまとめを社協にやってほしかった。
市も、この事業の成果や将来像を明確に示してほしい。

この点については、議会でしっかり質問をしている議員もいる。
議会としても、検証していきながら、今後もしっかり議論していきたい。

4. 学校除雪について

Q 教員が小学校の除雪機で歩道除雪をするのは危ないので、しないようにとの指導を受けたと聞いている。本当か。

A シルバー人材センターから来ている人はしてはいけないとの指導は聞いたが、教員がしてはいけないとは聞いていない。

令和8年5月20日

越前市議会 議長 様

第1班 班長 清水 一徳